

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第3期輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

静岡県袋井市

### 3 地域再生計画の区域

静岡県袋井市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2020年の88,316人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2025年には87,635人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年には総人口が75,100人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は2012年の13,588人をピークに減少し、2025年には11,500人となる一方、老年人口（65歳以上）は2005年の14,021人から2025年には22,589人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2008年の57,765人をピークに減少傾向にあり、2025年には53,546人となっている。

自然動態をみると、出生数は2009年の1,013人をピークに減少し、2024年には554人となっている。その一方で、死亡数は2023年には969人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は2024年には△364人（自然減）となっている。

社会動態をみると、本市の基幹産業が製造業であることから外国人労働者の転入・転出による影響を受けやすく、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年には△150人の社会減であった。しかし、2022年には転入者（4,453人）が転出者（3,782人）を上回り社会増（671人）となった。このように、出生数の減少（自然減）はあるものの、外国人労働者の転入超過（社会増）が、人口減少の抑制に寄与していると考えられる。

外国人労働者の転入超過により、人口減少は抑制されているものの、総人口としては、減少傾向にあり、将来的な人口減少・少子高齢化が確実視される中、労働力不足や地域活力の低下、社会保障の増大といった様々な課題に直面している。

これらの影響に加え、市職員の減少や財政逼迫等の組織的なリソース不足により、本市単独では、従来のサービス提供を維持できなくなることが懸念されており、併せて、1975年代頃に集中的に建設された多くの公共施設の老朽化が進んでおり、近い将来、大規模な改修や建て替えが必要となるなど、維持管理コストが増大することが予測される。

また、近年、外国人市民が増加傾向にあり、外国人市民の割合も7%を超えたほか、多国籍化も進んでいることから、異なる言語・文化背景を持つ住民同士が、安心して暮らせるよう、言語サポートや文化理解の促進、地域社会への参画支援などの環境づくりが求められている。

このような状況の中、①DXの推進、②官民共創の推進、③広域連携の推進及び「地方創生2.0の基本姿勢・視点」に立ち、これらの課題に対応するため、次の事項を基本目標として掲げ、自らが目指す姿を実現するという気概を持って、地方創生の取組を推進していく。

- ・基本目標1 強い地域経済をつくる
- ・基本目標2 安心安全で豊かな生活環境をつくる
- ・基本目標3 若者や女性に選ばれる地域をつくる

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内GDP	551,698 百万円	現状値以上	基本目標1
ア	市民1人あたり所得	3,448千円	3,729千円	基本目標1
イ	市民の生活満足度(平均 値)	6.0	県の平均値 以上	基本目標2

ウ	若者人口(20歳未満)の転出入	△83人	0	基本目標3
ウ	女性人口(全年齢)の転出入	△153人	0	基本目標3

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

#### ① 事業の名称

第3期輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

ア 強い地域経済をつくる事業

イ 安心安全で豊かな生活環境をつくる事業

ウ 若者や女性に選ばれる地域をつくる事業

#### ② 事業の内容

ア 強い地域経済をつくる事業

産業の新たな展開の推進として、環境の変化に対応できる「稼ぐチカラ」の強化、企業誘致の推進、雇用対策と人材育成を図る。

経営力の高い農業の振興として、次代の担い手育成の推進、農地の基盤整備と多面的機能の維持、農産物の高付加価値化と販路拡大、安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進、農資源の更なる有効活用を図る。

魅力的な商業・サービス業の振興として、事業者等の経営力向上と魅力ある個店の支援、消費者トラブルの解決と防止のための啓発の支援を図る。

#### 【具体的な事業】

- ・ふくろい産業イノベーション推進事業
- ・袋井観光ルネッサンス事業 等

## イ 安心安全で豊かな生活環境をつくる事業

出産前からの切れ目のない支援として、安心して子どもを産み育てられる支援体制の充実、こどもの健やかな育ちに向けた支援の充実、子ども一人ひとりを大切にしたい支援の充実を図る。

みんなで支え合う子育て環境の充実として、安心して子どもを育てられる環境の整備、円滑な接続と質の高い教育保育の実現を図る。

生涯いきいきと過ごせる健康づくりの推進として、多様な主体との連携による健康な地域づくり、世代を通じた健康づくりの推進、生活習慣病等の早期発見と重症化予防を図る。

誰もがしがわに暮らせる高齢者支援の推進として、自分らしく安心して暮らせる地域包括ケアシステムの充実、安心な生活を支援するための介護保険事業の実施を図る。

安心できる地域医療の確保として、切れ目のない持続可能な地域医療体制の確保、持続可能な救急医療体制の確保を図る。

自分らしく暮らせる障がい者・生活困窮者支援として、自立した生活の支援、社会福祉施設の整備支援、障がい者への理解と地域の交流の支援、生活困窮家庭の生活支援を図る。

魅力ある拠点づくりとして、都市機能・生活機能を集約した魅力ある拠点の形成、周辺市町や拠点間をつなぐネットワークの整備、安全で安心な利便性の高い道路環境整備の推進、移動手段として選択される公共交通サービスの提供を図る。

良好な市街地の形成として、歴史・文化など地域資源の保全と良質な景観形成の推進、総合的な住宅施策の推進、空き家等の適正管理と利活用の推進、歩いてみたくなる水辺空間の創出を図る。

豊かな環境の醸成と継承として、環境保全意識の高揚、快適な生活環境の保全、資源循環型社会の推進を図る。

持続的なインフラメンテナンスの推進として、持続可能なインフラメンテナンスの推進（道路・河川・排水路）、利用しやすく持続可能なインフラメンテナンスの推進（公園緑地等）、市営住宅等の適正管理の推進を図る。

上下水道の持続可能な経営として、上下水道事業の健全経営の確保、水道水の安定供給の確保、水辺環境の保全・改善に向けた生活排水対策の推進を図る。

水害等に強いまちづくりとして、流域治水の推進、防災都市づくり計画等の推進を図る。

防災減災対策の推進と危機管理体制の強化として、家庭における防災減災対策（自助）の推進、地域防災力（共助）の強化、危機管理体制（公助）の強化、津波・洪水・土砂災害被害の軽減、原子力災害への対策を図る。

消防・救急救命体制の充実として、消防力の強化、火災予防の推進、救急救命体制の強化を図る。

#### 【具体的な事業】

- ・多様なニーズに応える子ども支援推進事業
- ・幼小中一貫教育推進事業
- ・生活習慣病予防事業
- ・認知症総合支援事業
- ・Fukuroi Central Park 推進事業
- ・海のにぎわい創出事業
- ・家庭内減災対策推進事業
- ・消防団運営事業 等

#### ウ 若者や女性に選ばれる地域をつくる事業

未来に輝くこどもたちの育成として、「生きる力」の育成、「確かな学力」を育む教育の推進、健やかな心身を育む教育の推進、こどもの健全な成長を支える安全・安心な給食の提供、質の高い教育環境の整備を図る。

教養豊かな人づくりとして、社会全体が連携した青少年健全育成の推進、市民の学び合い・地域づくりへの支援、読書活動の推進と図書館機能の充実を図る。

文化芸術の振興と戦略的な観光の推進として、文化・芸術の振興と郷

土の歴史資源の保存・活用、袋井ブランドの活用、マーケティングの推進、担い手の充実と育成を図る。

スポーツを活かした交流の促進として、スポーツを楽しむ機会の充実、多様なスポーツを支える場と人の充実、スポーツの魅力による地域活力の創出を図る。

市民と行政の協働によるまちづくりとして、自治会（連合会）活動の維持・促進、多様な担い手による地域づくり活動の充実・支援、市民活動の促進と交流・連携の機会の創出を図る。

市民による生活環境の向上として、ごみの適正な排出の促進、交通安全対策の推進、地域における防犯活動の支援、地域の愛護活動・緑化活動の支援を図る。

共生社会の確立として、男女共同参画と女性の活躍の推進、多文化共生の推進、多様な価値観が尊重される共生社会の推進を図る。

#### 【具体的な事業】

- ・心ゆたかな人づくり推進事業
- ・部活動地域展開事業
- ・ふるさと納税事業
- ・スポーツ指導者連携強化事業
- ・コミュニティセンターを拠点とした地域づくり事業
- ・可燃ごみ削減プロジェクト～ふくろい 5330 運動～
- ・男女共同参画プラン推進事業
- ・多文化共生推進事業 等

※なお、詳細は第3期輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

10,000,000千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度7月頃に外部有識者による総合計画審議会において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、9月頃に袋井市ホームページで公表する。

⑥ **事業実施期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで

**6 計画期間**

2026年4月1日から2031年3月31日まで